**ISO TC154 総会報告**

会議形式：オンライン

オープニングセッション：9月2日

WG報告&リエゾン報告：10月21日

クロージングセッション：10月28日

議長： [Hongru (Judy) Zhu](https://www.isotc154.org/members/judy-zhu/) (SAC, China)

委員会事務局： [Jianfang Zhang](https://www.isotc154.org/members/jianfang-zhang/) (SAC, China)

ISO技術委員会事務局： [Laura Mathew](mailto:mathew@iso.org)

1. **JWG1: Joint Syntax Working Group**

JWG1はUNECEとの合同WGで、EDIFACTシンタックスのメインテナンスを担当。

* ISO9735-10: EDIFACTサービスコードの定義。EDIFACTメッセージが追加される毎にメッセージ・コードの追加を行ってきたが、今回の改訂で、コード変更リストは国連CEFACTの管理ページ（GEFEG FX）で行うことで合意。
* ISO9735-11: ユーザーの要請でEDIFACT\_version3とversion4の両方を標準として認めてきたが、今回、version4でversion3をカバーできるように仕様を追加した。

**２　WG4: Standardized Document**

WG4はUN Layout Keyなどの文書標準、及びその電子版を担当。

* 電子文書のメタモデル標準WD（Working Draft）36001が作業中であり、関連のメタデータ定義仕様、XML定義仕様のためのPWI（New Work Item Proposal）が提案された。

1. **WG5: Date and Time**

WG5は日付及び時刻の表記の標準化を担当。

* 具体的な日時定義はISO 8601で規定されているが、それを補足するコンセプトと用語の整備を進めている（ISO34000シリーズ）。
* ISO34000シリーズには、参照時間スケール、タイムゾーン、暦コード、XML表記などが含まれる。

1. **WG6: Trusted e-Communication**

WG6は電子取引における電子コミュニケーションの信頼性に関わる標準化を担当。

* CAdES (*CMS Advanced Electronic Signatures*)高度電子署名に対応するために行った[CMS(暗号メッセージ構文)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9A%97%E5%8F%B7%E3%83%A1%E3%83%83%E3%82%BB%E3%83%BC%E3%82%B8%E6%A7%8B%E6%96%87)形式の[デジタル署名](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E7%BD%B2%E5%90%8D)の改訂を実施。
* PDF用長期電子署名PAdES (*PDF Advanced Electronic Signatures*) の改訂を実施。
* 電子文書のコミュニケーション・プラットフォームとしてブロックチェーンを使用するためのガイドライン（PWI TR 19626 Trusted Communication Platform for e-Document　Part3: Blockchain based implementation guide (Blockchain)）プロジェクトの提案が行われた。当件はブロックチェーン全般を担当するISO TC307との調整が必要。

1. **WG7: Digital Business**

WG7は電子ビジネスにおける相互運用性確保のための標準化を担当。

* 電子ビジネスのための企業モデルパターン（DIS 5054-1 Enterprise Canonical Model – Architecture）の最終投票中。
* OASISよりebXMLレジストリ・リポジトリ（ISO 15000-3 Registry and Repository )のファーストトラック提案がなされた。
* OASISのメンバーより、ISO15000シリーズの再整理を検討中との発言があった。それには、ebMS、CPA、R&R、CCTSが含まれる（BPSSは除く）。
* 以下のような新プロジェクトが検討中。
  + Smart Contract (Blockchain) : 韓国
  + Traceability Platform for Cold Food (Blockchain) : 中国
  + Carbon Neutrality
  + Industrial internet

1. **JWG8: Logistics Data Contents and Process**

JWG8はUNECEとの合同WGで、物流データとプロセスの標準化を担当。

* 物流情報サービスプロバイダー間のデータ交換標準（ISO 23355 Data Exchange between Logistic Information Service Provider）がCD（Committee Draft）投票にかけられている。
* ブロックチェーンによる電子B/L（船荷証券）の実装標準化（NP5909 eBOL (Blockchain) ）の新プロジェクト提案が2回目の投票にかけられることになった。

1. **Next plenary meeting**

ISO TC154の次回総会は、2022年10月17日～22日となる。

＊現在のISO TC154の日本事務局はNPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）。